企画展示のご紹介

秋の鳴く虫

■ 期 間:9月10日(土)~9月25日(日)

■ 内 容:スズムシ、コオロギ、ウマオイなど、秋の夜に耳を 楽しませてくれる虫たち約20種類を見ることができます。



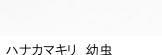
カマキリの世界 ~ユニークな昆虫狩人~

■ 期 間:10月8日(土)~11月6日(日)

■ 会 場:こんちゅう館がくしゅう室

■ 内 容: 近年、人気上昇中のカマキリを特集します! 広島県に生息するカマキリと、外国に生息する カマキリ、合わせて約15種の生体を展示します。また、分類や生態、飼育方法なども解説します。 さらに、標本、博物画やフィギュアなど関連グッズも展示します。







オオカマキリ 成虫



標本など関連グッズ

イベント案内

- 9月 ①大人のための昆虫講座「広島県のセミ」: 11日(日) 13:30~14:30 *2 ②「森の音楽会」: 18日(日) 13:30~14:30 *2 ③虫さがし「草原の虫」: 25日(日) 10:30~11:30 *2 ★ 10月 ④バックヤードガイド「樹木園ツアー」: 1日(土) 13:30~14:30 *2
- ⑤みどりとむし講座「ドングリと虫」: 16日(日) 10:30~11:30 *2 ⑥虫講座「カマキリのはなし」: 23日(日) 13:30~14:30 *2
 ⑦ハロウィン「蟲の館」: 30日(日) 9:00~16:30
 ★ 11月 ⑧バックヤードガイド「飼育室ツアー」: 5日(土) 13:30~14:30 *2
- ⑨落ち葉・木の実であそぼう:20日(日)、27日(日) 各日とも 1回目/10:00~11:30、2回目/13:00~14:30 *2
- ※1. 新型コロナウィルス感染症の拡大状況により、中止・変更などの可能性があります。
- ※2. ⑦以外は、すべて「事前申し込み制」です。
- ※3. 「事前申し込み制」イベントの募集定員数は、各回とも25名程度。応募多数の場合は抽選となります。 ※4. 申し込み方法、締切日等の詳細につきましては、こんちゅう館のホームページをご覧ください。

こんちゅう館 News 新シリーズ Vol.10 秋号 2022 年9月1日

〒732-0036 広島市東区福田町字藤ケ丸 10173番地 TEL (082)899-8964 FAX (082)899-8233 HP http://www.hiro-kon.jp/

こんちゅう館 News



み~んな主役!! **虫の館のスターたち** (10)

トノサマバッタ Locusta migratoria バッタ目 バッタ科



トノサマバッタは身近な草地に生息する、大型のバッタです。 体長はオスが約 4cm、メスが約 6cm で、メスの方がひと回り大きいです。野外では緑色や褐色、黒色など、様々な体色の個体がみられ ます。体色は周囲の環境に応じて決まります。

飼育は簡単で、イネ科の植物(ススキやエノコログサなど)を入れておくとよく食べます。日光浴 をして代謝を高めているため、日光のあたる窓の近くに飼育ケースを置きます。湿らせた土を入れた プリンカップをケースに入れておくと、産卵してくれます。

トノサマバッタの一番の特徴は、個体の育った密度に応じて形や行動が変化することです。この現 象は相変異と呼ばれます。野外でみられる個体は通常、低い密度で育った孤独相と呼ばれる状態です。 高い密度で育つと群生相と呼ばれる状態になり、体は黒く、後脚は短く、翅は長くなり、長距離移動 に適した体型となります。また、集団で行動します。限られた飼育スペースのためか、こんちゅう館 の飼育個体は黒く、集合していることが多々あり、群生相になりつつあるようです。(久我)

パピヨンドームの舞姫(10

シロオビアゲハ Papilio polytes チョウ目 アゲハチョウ科

シロオビアゲハは南西諸島に生息するアゲハチョウの仲間です。「シロオビ(白帯)」という名前のとおり、成虫の後翅には、はっきりとした白い帯があります。

こんちゅう館では幼虫の食草として主にウンシュウミカンやユズなどの柑橘類の葉を与えています。中でも特にレモンの葉が柔らかく、好んでよく食べます。また、敷地内に自生しているカラスザンショウは、柑橘類と比べて葉も大きく成長が早いので、食草としては非常に優秀です。しかし、冬になると葉を落としてしまうのが難点です。冬は、寒さで柑橘類の葉も硬くなってしまうので、幼虫たちには我慢してもらいながら硬い葉を与えています。

ところで、オスの後 翅にはどの個体にもはっきりとした白い帯がある一方、メスの後翅はオスと ほぼ同じ模様の「通常型(シロオビ型)」と、後翅に赤い斑紋がある「ベニモン型」の2種類の パターンに大きく分けられます。ベニモン型のメスは「ベニモンアゲハ」という毒を持ったチョウ に擬態していると言われています。ベニモン型の模様は個体差が大きく、中には一見通常型と同じ 種類とは思えない程赤い斑紋が目立つ個体もいます。パピヨンドームにお越しの際には、ぜひ 通常型とベニモン型の両方を見つけて、見比べてみてくださいね。(高野)















こんちゅう館の四季 2022 秋

好物樹木園の秋は、最も景色が美しいのではないでしょうか。植栽のカエデをはじめとする樹木は紅葉し、秋の草花は可憐な花を咲かせます。樹木園内では、『秋の七草』に数えられているフジバカマを植栽しています。フジバカマは薄い桃色の花を可憐に咲かせ、その花には多くの昆虫が蜜を求めに飛んで来ます。

それら昆虫の中に、『旅をするチョウ』として有名なアサギマダラがいます。アサギマダラは秋に 北から南のへ長い旅をしますが、その途中でこんちゅう館を訪れているようです。長い旅路での休憩の つもりなのでしょうが油断は禁物!フジバカマの花の近くで、オオカマキリがじーっと獲物を待ち構え ていることがあります。アサギマダラは毒を持つので、鳥などには襲われることが少ないですが、カマ キリなど肉食性の昆虫には襲われてしまいます。優雅に舞って旅をするので、一見すれば楽しそうです が、その旅路は意外にも厳しいものですね。(佐藤)







こんちゅう館の季節の虫

ウラギンシジミ *Curetis acuta* チョウ目 シジミチョウ科

ウラギンシジミは、名前の通り翅の裏面(翅を閉じた時に見える側)が銀色のシジミチョウです。オスは翅を開くとオレンジ色の模様が目立ちます。食草温室まわりのフェンス周辺に食草のクズが多いので、比較的多くの個体を観察することができます。(佐藤)

